

2025年4月1日

第56回「博報賞」応募受付開始

公益財団法人 博報堂教育財団は、文部科学省の後援を得て、第56回「博報賞」の応募受付を開始いたしましたので、お知らせいたします。

■博報賞とは

「博報賞」は、児童教育現場の活性化と支援を目的として、財団創立とともにつくられました。「ことばの力を育むことで、子どもたちの成長に寄与したい」そんな想いを核として、日々教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の「波及効果が期待できる草の根的な活動と貢献」を顕彰しています。また、その成果の共有、地道な活動の継続と拡大の支援も行っています。

■活動領域

「国語・日本語・ことばの育成に関わる教育実践」と、「特別な配慮や多様なニーズのある子どものコミュニケーション活動を支援する教育実践」を軸に、以下の幅広い領域を対象としています。

「国語教育領域」「日本語教育領域」「特別支援教育領域」「日本文化・ふるさと共創教育領域」

「国際文化・多文化共生教育領域」「独創性と先駆性を兼ね備えた教育活動領域」

■賞の内容

各受賞者に、正賞(賞状)および、副賞(副賞金)を贈呈いたします。また、博報賞受賞者の中で特に優れた活動には、文部科学大臣賞が授与されます。(選考の結果、各賞該当者がいない場合もございます。)

- 博報賞 副賞: 100万円…15件前後想定
- 功労賞 副賞: 50万円
- 奨励賞 副賞: 30万円
- 文部科学大臣賞 博報賞受賞者の中で特に優れた活動へ授与

■スケジュール

応募受付期間 2025年4月1日(火)～6月25日(水) ※財団必着(書類不備等修正含む)
受賞者発表 2025年10月上旬(予定)
贈呈式 2025年11月14日(金) 日本工業倶楽部会館(東京都千代田区)にて開催

■候補者資格

- ・日本国内での活動で、主に6～15歳(特別支援教育は4～18歳)の日本在住の子どもを対象とした教育的な活動を続けている団体もしくは個人。
- ・なおかつ、活動期間が活動開始から3年以上経過していること。(3年目の活動は、審査対象外)

■推薦資格

各自治体の教育長、教育事務所長、教育センター長、各種校長会・教頭会会長、日本国内の大学・大学院 教授・准教授、都道府県市区町村長、都道府県私学協会会長、国際交流協会会長、各領域の活動に造詣の深い団体や研究会等の代表・部会長など

■応募について

- ・推薦資格を有する第三者の**推薦が必須**
- ・当財団ホームページ「応募書類ダウンロード」ページ掲載、または、都道府県市区町村教育委員会等へ郵送の応募要項・応募書類を使用

※応募書類ダウンロードページ <https://www.hakuhodofoundation.or.jp/download/>

■審査委員

滝川 国芳 氏 (審査委員長/京都女子大学 教授) 他9名

博報堂教育財団は、児童に対する国語教育と視覚・聴覚障がい者に対する教育を助成し、あわせてその活動に関する調査研究を行うことで、健全な人間形成に寄与することを目的に、1970年に設立されました。以降、「子ども・ことば・教育」を活動領域ととらえ、さまざまな活動を行っています。

財団設立時から続く優れた教育実践活動を顕彰する「博報賞」をはじめ「児童教育実践についての研究助成」「教職育成奨学金」「海外の子どもたちの日本語教育支援」「世界の子どもたちとの日本語交流」「社会啓発事業」さらに「調査研究事業(こども研究所)」などの活動を行っています。

■本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 博報堂教育財団 博報賞担当
TEL(代表):03-6206-6266 (平日9:30～17:30)
E-mail: hakuhoushou@hakuhodo.co.jp